

ASUMIN

NOTE

[あすみんノート]

2018 Spring

11

No.

NGO:from Fukuoka

Special Issue

NGO  福岡から世界へ

Voice

井上広之(認定特定非営利活動法人ソルト・パヤタス)

GOOD ACTIVITY FILES

特定非営利活動法人バングラデシュと手をつなぐ会
FNA(アジア開発銀行福岡NGOフォーラム)
ベシャワール会
NPO法人トゥマンハティふくおか

@DATA

漏水率は2.0%

Asumin Information

Asumin Recommend

はじめのイッポ

Hondana!

世界が、それを許さない。

Organization Introduction

登録団体紹介:登録番号561~586

NGO

福岡から世界へ

ASUMIN NOTE NO.11

Special Issue

NGO: from Fukuoka

今回のissue(論点)は、NGO(エヌ・ジー・オー)。英語の Non-Governmental Organization(非政府組織)の頭文字を取った略称で、開発や貧困・飢餓・環境などの地球規模の問題に対し、人種や宗教の違い、そして国境を超えて、利益を目的とせず自発的に取り組む民間団体のことです。もともとは国連の場で、各国の政府や国際機関以外の民間組織を示す言葉として、「Non-governmental(政府でない)」が使われました。途上国の貧困問題や地球環境問題・平和協力・人権問題など、海を渡ったスケールが大きな活動のイメージが強いので、どうしても身近な活動だと感じにくい側面もありますが、私たちのまち福岡にも、その専門性やスキルを生かして活躍するNGOが数多くあります。

世界の広範な課題に総合的に取り組む指標として、2015年9月の国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」。その中に記載されている「持続可能な開発目標(SDGs)」には、世界を変えるために策定された《17の目標》が掲げられています。SDGsを指標としながら、私たちの生活が海外と密接に関係していることについて、そして、福岡から世界に向け果たすべき役割について、仲間同士で語り合ってみましょう。

■編集協力:特定非営利活動法人NGO福岡ネットワーク

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



VOICE

ボイス

認定特定非営利活動法人ソルト・パヤタス

井上 広之さん *Hiroyuki Inoue*

活動の「きっかけ」は？

1995年に任意団体として始めました。当時、高校の英語教員をしていた女性と、保育園の先生の女性2人で立ち上げました。その前年、発展途上国のスタディーツアーでフィリピンのパヤタス地区にホームステイをしました。そこ

にはゴミ山があり、小さな子どもも学校に行かず、ゴミの中から資源を拾ってお金にしていました。そこで中学2年生程の女の子にインタビューする

機会があり「今、したいことある？」と聞いたら、「小学校2年生に戻りたい」と答えたそうです。その子は、小学校を2年でやめ、ずっとゴミ山で働いていました。そんな現実を知り、何かしたいと考えていると、現地のお母さんから「幼稚園を卒業する19人が小学校に入れない」と知らされます。その子たちの学費を支援したいというのが活動のきっかけです。

取り組みを教えてください

まずは、募金活動。当時、パヤタス地区の子どもが年間学校に通うのに、一人あたり12,000円程必要でした。まずは19人から始まり、最盛期の2010年頃は、1～6年生で100人程を支援していました。そ

今回のvoiceでは、福岡を拠点に、フィリピン・パヤタス地区で子ども

んな学費支援とは別に、1999年ぐらいから現地で仕事を生まなければという議論を始めました。お母さんたちもゴミ拾いに代わる仕事をしたいと言っていたので、収入が向上できる事をしようと。たまたま、刺繍ができるボランティアさんがいたのと、フィリピンの女性が小学生の時に刺繍を学ぶので基礎技術はあるということで、刺繍を仕事として始めました。

だけど、2000年7月10日、ゴミ山が一斉に崩れる事故が起きました。今でこそ、ゴミはある程度積んだら重機で均一にしますが、当時はなんの法規制もなく、ただトラックが来てはゴミを下ろしてを繰り返す状況。以前か



ら、小規模な崩壊はあったのですが、なにも対策されず、雨季で7月のはじめから1週間ぐらい雨が降り続けゴミ山も柔らかくなっていたのでしょ。雪崩のようなものが起き、ゴミ山の上で働いていた人や周りの家も飲み込まれ、最低でも300人程が亡くなりました。当時支援していた子どもも5人巻き込まれて。これで、ゴミ山は閉鎖されましたが、生き残った人はゴミ山に

入らないと収入がないので、そっちも死活問題に。いつか事業化できればと細々とやっていた刺繍事業ですが、この事故をきっかけにどうしてもやらなきゃいけないものになりました。

十分な収入になりましたか？

これ(写真左下)は、現地のお母さんたちがタオルやエコバックに刺繍をワンポイントで縫い付けるもの。最近は売り上げも伸び、パヤタスの平均収入が3000～4000ペ

ソぐらいのところ、平均で6000～7000ペソの収入になります。もちろんフィリピンの一般的な賃金よりも少し安いですが、当初は収入も少なく、これじゃあ子どもを育てられないと海外に出稼ぎに行く方もいました。子どもたちを助けるというよりお母さんたちを助ける取り組みです。

が。当初は収入も少なく、これじゃあ子どもを育てられないと海外に出稼ぎに行く方もいました。子どもたちを助けるというよりお母さんたちを助ける取り組みです。

その後の活動展開は？

活動内容は次第にシフトしていきます。今では、カシグラハンという地域にも範囲を広げています。こ

GOOD ACTIVITY FILES

グッド・アクティビティ

13

学びあい助け合いながら
手をつないで生きていきたい

特定非営利活動法人 Bangladesh と手をつなぐ会

Bangladesh と手をつなぐ会は、 Bangladesh の現地 NGO への資金援助を通し、看護師の不足に悩む現地に対する看護学校建設や奨学金プロジェクトの実施、妊婦検診や出産、一般診療を行う「母子健康センター」の建設と運営、出張診療や救急車の配備などの活動を行っています。日本で集めた寄付や会費で Bangladesh ・カラムディ村へのスタディーツアーや会報誌の発行、チャリティイベントを行い現地の現状を伝えています。



14

「どうして？」と疑問を持つことから
国際協力を始めよう

えふな
FNA

(アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム)

アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム (通称: FNA/エフナ) は、国内外の NGO 等と協力しながら、アジア開発銀行をはじめとする諸機関に対して働きかける政策提言などを行っています。環境・開発・国際援助などの地球的課題について、草の根の人々の視点から捉え、貧困を是正し、持続可能な開発とすることを目指します。世界中の NGO との情報交換と協力、財務省やアジア開発銀行との話し合い、学習会や講演会などを実践しています。



こは、パヤタスのゴミ山の崩落事故で家を失った人たちが移り住んだ地域でもあり、うちの受益者も何人か移ったので、2000年から2箇所での活動を開始しています。

そして、パヤタス(2010年)とカシグラハン(2016年)に子ども図書館を建設しました。地域の子どもなら誰でも利用可能で、本を読んだり、お絵描きしたり、庭で遊んだり、子どもらしくいられる場を念頭に、トレーニングを受けたスタッフが常駐します。そこでは、これまでの学費支援や職業支援とは別に、学校や教育機関を巻き込んだ「ライフスキル教育」を実施するようになりました。この教育は、日々の生活で、自分の考えをもち、良好な人間関係をつくり、善し悪しを判断し、自分の気持ちや考えを表現する力を身につけるもの。とても当たり前聞こえますが、これまで続けてきた活動で、せっかく学校に通うことができても、卒業後、ゴミ山に戻ってしまう現実を目の当たりにし、社会をたくましく生き抜けるように教育から見直すことが必要だと考えたのです。

現在は、その教育がどのような影響を与えるかを、大学の研究者も入って効果測定をしています。

NGOってもっと貧しい国に行くイメージがあります

確かにフィリピンは経済成長を続け、昔ほど「貧困」というイメージが世間的には無いかも知れませんが、ただ先進国の日本にも貧困があるように、フィリピンにも経済成長の恩恵を受けていない貧困地域は未だに多く存在していますし、私たちが支援しているパヤタスやカシグラハンまさにそういった地域です。世界銀行が定義している国際貧困ライン「1日1.90ドル」以下で生活している人たちも多くいる地域です。経済成長の影に隠れて貧困が見えにくくなってしまっている地域でこそ、私たちのようなNGOが活動する意義があると思っています。

福岡のNGO活動について

フィリピンを支援するNGOだけでなく、農業支援や女性の収入向上事業、平和構築など、50団体以上あります。有名な団体でも東京のほか、京都や名古屋で活動しているところもあるので、必ずしも中央の方が恵まれているわけではないですね。実感として、ネットワー

ク力では負けるけど、イベントの集客や個人の支援者さんを増やすことは、地方も変わらない。むしろ、活動を

小さく回すのであれば、地方の方が絶対いいとも思います。

NGOのこれからについて、どう思いますか？

NGO活動って最初の出会いが大事だと思います。私の場合、大学の時に貧困や格差に興味湧き、初めて訪れたのがパヤタスでした。何度もフィリピンを訪れると、当たり前ですけど、去年と同じ人がいます。彼らと会って、そのときにはじめて貧困というものをリアルに感じました。この一年、こんな臭いもきついゴミ山で、家もぼろぼろな中で生活していたんだ。なんだか、自分が恥ずかしくも感じました。その後、一般の企業に就職しましたが、日々の仕事の中で、なんのために働くのかと考えるように。ある時、フィリピンから刺繍のお母さんたちが、イベントで日本へ来たことがあり、通訳のお手伝



いをしました。一緒にしゃべっていると、こんな人たちのために働いた方が楽しいだろうと思ってしまいました。

た(笑)正直、世界平和のためとかではなく、フィリピンがあったからNGOの世界に入った感じです。もっと大きなNGOに入りたいとか、JICAに勤めたいとかはないですね。すべての人がラクをできればいいけど、それは資本主義では成し得ないと思います。ただ一番問題だと思うのは、格差が固定化されていること。パヤタスやカシグラハンでは、生まれた瞬間に運命が決まっているような状態があります。やっぱりそれを変えないといけないと思っています。

認定特定非営利活動法人 ソルト・パヤタス

フィリピン・パヤタス地区のゴミ山で働く19名の子どもの奨学金支援から活動を開始。貧困の世代間連鎖問題について発信し、現地の女性や子どもたちと共に問題に取り組む。

<http://www.saltpayatas.com/>

イ・ファイル

このコーナーでは「社会にイイ活動=Good Activity」を行っている団体をご紹介します。ボランティアに参加したいときや、自分たちの団体とつながる仲間を探すときなど、ぜひ参考にしてください。

15 | 皆を突き動かしているのは「平和な生活」です

ペシャワール会

1983年、中村哲医師のパキスタンでの医療活動を支援するために結成されました。現在は干ばつと内戦で苦しむアフガン東部で、診療所での医療活動と並行して、水利事業を含めた総合的農村復興事業「緑の大地計画」を推進するPMS(平和医療団・日本、総院長中村哲医師)を支援しています。現地事業を進めるために必要となる広報、募金活動及び医薬品や医療器具等の輸送、ワーカーの派遣等の活動を幅広く行なっています。



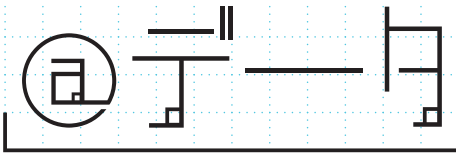
©ペシャワール会HP

16 | 誰もが安心して暮らせる国際社会とユニバーサル都市の推進へ

NPO法人トゥマンハティふくおか

在日インドネシア留学生協会福岡支部とともに、2003年からインドネシアの文化を発信するイベントを開催。収益金を、経済的な理由などで学校を続けられない子どもにも奨学金として贈ってきました。インドネシアの子どもの教育支援に加え、国際社会に開かれたまちづくりの推進事業やグローバル経済発展の支援事業などを通じ、地球市民ひとりひとりが「心の友」として安心して暮らせる真のユニバーサル社会の実現を目指しています。





「@データ」は、市民公益活動に関わるさまざまな「データ」をもとに、詳しい方の意見を聞いたり、考えるきっかけをつくるコーナーです。

Tag:

#漏水率は2.0%

教えてくれた方

福岡市総務企画局
国際協力課

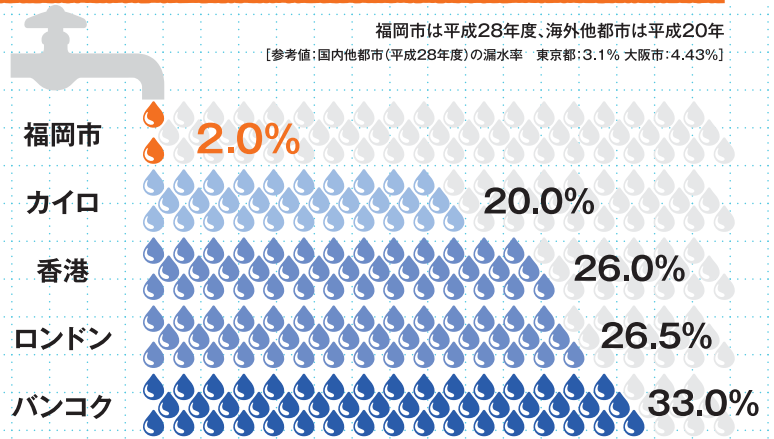
古賀誠一さん

Seisichi Koga



Data 1

世界でもトップレベルの水道技術
海外諸都市の漏水率



福岡市は平成28年度、海外他都市は平成20年
[参考値:国内他都市(平成28年度)の漏水率 東京都:3.1% 大阪市:4.43%]

出典:松井一彦「世界の水問題への日本の取組」[立法と調査]第332号(平成24年9月)114頁、
福岡市「平成28年度決算値」

都市課題を乗り越えてきた歴史 住みやすさへの技術に注目

福岡市は、古くから日本とアジアをつなぐ交流拠点として繁栄を続けています。市民を対象とした「市政に関する意識調査(平成29年)」において、96%の市民から“住み良いまち”だと評価されていることから、都市としての充実度を知ることができます。

こうした住みやすさの背景には、都市の発展に伴う湧水や浸水、ごみ問題などのさまざまな課題を乗り越えてきた歴史があります。そこで培われた世界でもトップレベルを誇る水道技術(Data1)や浸水対策といった下水道技術、ごみの埋立技術「福岡方式」など、発展の過程で直面し解決してきた都市課題に対するノウハウと技術は、同様の課題に悩んでいるアジアの諸都市からも大きな注目を集めています。

福岡市の技術を世界へ 国際貢献は、次のステージに

福岡市では、行政機関が行う国際貢献の一つのカタチとして、各国の都市に対し、そのノウハウと技術を伝えています。とくに、マンマー・ヤンゴン市とはJICA水道専門家の派遣を契機に、国際貢献を通じた信頼関係が実り、平成28年12月、日本の都市として初めて姉妹都市を締結。平成29年からは、市が独自で技術職員の派遣を開始し、インフラ整備の技術協力はもとより、両市の架け橋としてさまざまな分野で活躍しています。

また、こうした国際貢献の取り組みを、地場企業の海外展開に繋げるため、福岡市と民間企業が連携する「福岡市国際ビジネス展開プラットフォーム」を設置(平成26年)し、ビジネスチャンスの創出を図っています。

世界の都市問題の解決をめざし 都市のリーダーが、福岡市に集結

今年の8月に、まちづくりへの評価が高い福岡市と国連ハビタット福岡本部が共同で「第12回アジア太平洋都市サミット」を福岡市で開催します。この会議は、24か国46都市の首長に加え、世界銀行等の国際機関や企業も参加する日本最大の都市の国際会議です。

世界全体で都市化が進展し、2050年には世界人口の約7割が都市に居住することで、いろんな都市問題が顕在化すると見込まれています。これらの問題の解決に寄与するため、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられている「持続可能な開発目標(SDGs)」を踏まえつつ、自治体だけでなく、様々なステークホルダーの参画を得て実効性のある会議を開催します。

第12回 アジア太平洋都市サミット SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES

- SDGs GOAL#11 -
住み続けられるまちづくりを

PROGRAM 8/1-8/3
(開催日程)

公式ホームページ



「福岡方式」準好気性埋立構造

福岡市と福岡大学で共同開発した埋立構造。埋立場の整備が「早い」「安い」「簡単」で、今では日本の標準的な埋立構造となっています。

さらにメタンガスの発生を抑制することから、国連気候変動枠組条約のCDM(クリーン開発メカニズム)手法にも認定されています。

「早い」

ごみが土に還るのが早く、土地の早期再利用が可能。

「安い」

竹やドラム缶など、現地で調達できる資材の利用も可能。

「簡単」

シンプルな構造で、現地の人たちでも施工可能。途上国でも、現地の「スカベンジャー(ごみ拾いで生計を立てる人たち)」の力を借りて、施工が可能。

【ごみの埋立場が美しい公園へ】



▲埋め立て前(廃棄物埋立処分場)



▲埋め立て後(今津運動公園)

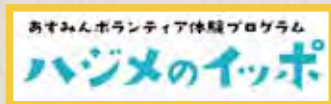
あすみんのオススメ

Asumin Recommend

ハジメのイッポ

あすみんでは、これからボランティアをはじめの方にオススメのボランティア体験プログラム「ハジメのイッポ」をご用意しています。プログラムの参加手続きはカンタン。気になる活動と体験希望日を決め、申し込み用紙を記入するだけです。初心者でも参加しやすい「体験」を重視したもので、ボランティア活動を始めてみたい方、興味がある方は、あすみんまでお問合せください。

※電話受付は行っていません。



「ハジメのイッポ」の概要やプログラムの内容は、あすみん館内掲示や、あすみんHPで見ることができます。



※団体からのプログラム提供も随時募集しています。お気軽にお問い合わせ下さい。

ホンダナ!

Hondana!

あすみんの図書コーナーに所蔵している書籍をご紹介します!

世界が、それを許さない。



ISBN:978-4-00-061238-8
定価:1,836円(1,700円+税)
判型:四六判
ページ数:208

NGOを志す方には、とくにおすすめです。ピースウィンズ・ジャパン(PWJ)の創始者・大西健丞氏の冒険と波乱に満ちたチャレンジの歴史を振り返り、その強い思いや、社会課題との接し方について紹介します。自分の日常の外にある「非日常」を知ろうとし、目を離さないでいることが、人を「行動」へと導くのだと筆者は教えてくれます。PWJの20年のあゆみとこれからがわかる一冊です。

【著者】大西健丞

【発行】株式会社岩波書店 【発行年】2017年

登録団体紹介

Organization Introduction

あすみに登録された団体を紹介します。(登録番号561~586)

- 歴史・文化・まちづくり研究会
- LOLO1丁目
- NPO法人アイグループ
- Holistic Dictionary
- NPO法人文化ボランティアとびうめの会
- コミュニケーション心理学研究会
- イベントパートナー・シャルル
- NPO法人日本パーソナルセラピー協会
- 一般社団法人イマー・ソナ協会
- らくらくストレッチ倶楽部 福岡西
- NALC(ナルク)福岡どんTAC
- NPO法人ウィッグリング・ジャパン
- 一般社団法人新九州婚活支援機構
- 演劇ユニットそめごころ
- 地域サポーター「笑いんしゃい」
- 福岡日韓交流会 一期一会
- 九州デモクラティック教育コミュニティ(QDEC)
- 福岡女性問題研究会
- 福岡コーチングスキル向上委員会
- For everyone's smile
- Fun Life
- ひとのえん
- 西南ビジネスクラブ
- 健康LIFE推進サポート福岡
- NPO法人福岡建築ファウンデーション
- 才能アカデミー

利用団体登録・更新について

check!

あすみんでは、施設やサービスを利用される団体に関して、利用団体登録をお願いしています。**福岡市内で活動し、市民公益活動に取り組む団体(主にNPOやボランティア団体)が対象となります。**登録に必要な書類は、下記の(1)~(6)になります。ご記入のうえ、窓口までお持ちください。また、(7)、(8)は登録の際にご持参ください。登録申請時には、書類の確認・面談を行います。

登録に必要な書類

- (1)福岡市NPO・ボランティア交流センター施設利用許可申請書(団体)
- (2)団体の運営に関する規則(定款、規約、会則等)
- (3)活動計画書
- (4)これまでの活動実績がわかる資料
- (5)役員名簿(6)自己チェックシート
- (7)印鑑
- (8)申請者本人確認書類(運転免許証、健康保険証など)

福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん

【住所】〒810-0021 福岡市中央区今泉 1-19-22 天神クラス4F

【TEL】092-724-4801 【FAX】092-724-4901

【MAIL】info@fnvc.jp 【HP】http://www.fnvc.jp

【開館時間】月~土曜 10:00~22:00 日・祝日 10:00~18:00

【休館日】第4水曜日、年末年始 12月29日~翌1月3日

【facebook】https://www.facebook.com/asunoshimin/



HP



facebook



お越しの際は公共交通機関をご利用ください

- 地下鉄をご利用の場合 ● 七隈線「天神南」駅 1番出口から徒歩6分
- バスをご利用の場合 ● 西鉄バス「今泉1丁目」徒歩1分
- 電車をご利用の場合 ● 西鉄福岡(天神)駅 南口から徒歩5分

